

自己改革の実践！

—「農協改革」と「JA自己改革」—

現在、JAくろべでは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標とし、地域に根ざした総合事業を展開し、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAであり続けるために、自己改革に取り組んでいます。

自己改革には組合員の皆様の「声」が必要です。広報誌を通じて自己改革の「見える化」を実施し、皆様の「声」に耳を傾け、今後も自己改革に総力をあげて取り組んでまいります。

今回の特集では、国が求める「農協改革」とJAグループが展開する「JA自己改革」、JAくろべの「自己改革」についてお伝えします。



● 国が求める「農協改革」とは？

● 平成28年4月 改正農協法施行

JAの事業運営原則の明確化、JAの理事等の構成、組織変更規定の導入、中央会制度の廃止、公認会計士監査の義務付けなど、JAグループの事業・組織の基幹に関わる大幅な改正となりました。

● 平成28年11月 規制改革推進会議

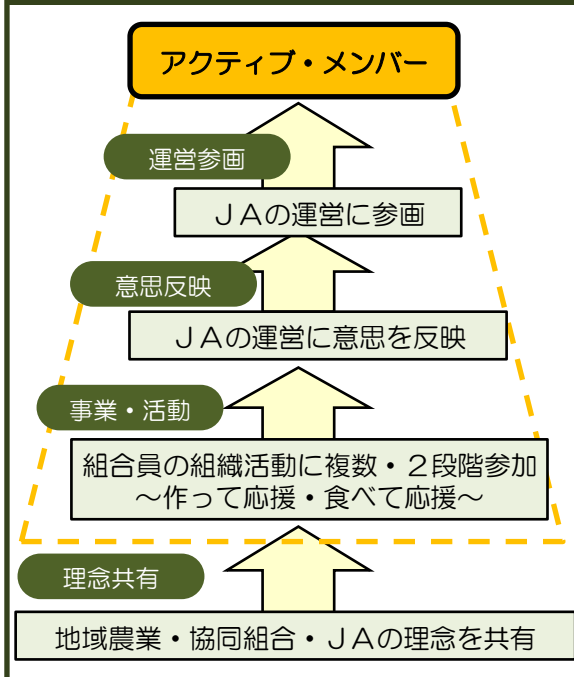
政府と内閣府の同会議が、農業の成長産業化を急進的に推し進め、JAグループの改革（＝農協改革）に着手しました。また、「農協改革に関する意見」とし、全農改革（農産物の全量買取、資材関連部門の生産資材メーカーの譲渡など）や、JA信用事業の農林中央金庫への譲渡等、JAの弱体化につながりかねない提言がされました。

● ～平成31年5月 農協改革集中推進期間

政府は、平成26年6月よりJAの改革の取り組みを進捗管理しています。

今、求められる アクティブ・メンバーシップ！

組合員の皆様が、地域農業や協同組合の理念を深め、「**私たちのJA**」という意識を更に高め、積極的にJA事業や組織活動に参画できるよう、メンバーシップを強化していきます。



● JAグループの「JA自己改革」

3つの基本目標を持って、自己改革に取り組みます！

JAグループでは、第27回JA全国大会（平成27年10月）において、組合員が運営し、組合員自らが必要とする組織であるという原点に立ち戻り、「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」として、3つを基本目標とする自己改革に取り組みました。

農業生産
の拡大

農業者の
所得増大

地域の活性化

富山県JAグループ一体となって取り組みます！

JA富山県大会議案で、「農協改革」の経過や農業・組合員・JAを取りまく情勢と課題を踏まえ、農業者の所得増大、県民の期待に応える安全・安心な農畜産物の安定供給に十分な成果をあげることが最重要課題として自己改革に取り組んでいます。

- 「農業者の所得増大」「地域の活性化」への挑戦
- 「農業者の所得増大」「地域の活性化」に向けた組織・事業・経営の革新
- 協同組合理念の浸透と「食・農・協同組合」にかかる理解の醸成

● JAくろべの「自己改革」

現在、取り組んでいる自己改革の一部を紹介します！

自己
改革

農業者の所得増大
農業生産の拡大

所得増大・生産拡大をめざした
地域農業戦略の策定・実践

農業の振興と担い手の確保、我が地域農業の実践と継続のため、意欲ある担い手と情報交換を実施します。



アグリミーティングの開催

自己
改革

農業者の所得増大
農業生産の拡大

付加価値の増大と
新たな需要開拓への挑戦

地域で生産された農産物を活用した加工品の開発や販路の開拓に取り組み、より収益性の高い農業を目指します。



玄米茶「黒部米茶」の販売

自己
改革

農業者の所得増大

低コスト生産技術の確立・普及

園芸栽培の定着と拡大を図るため、機械化可能な園芸品目について、定植機・収穫機のレンタルを実施します。



園芸機械の貸出機導入

自己
改革

地域の活性化

地域コミュニティの活性化と
組合員・地域住民への健康増進
活動の実践

「食と農」を軸として地域の活性化を図ります。



農業体験学習（学習田）